

Web きくみん リレートーク No.5

菊池圏域内の菊池郡市薬剤師会内には約80の薬局があり、2市2町(菊池・合志・菊陽・大津)それぞれに約20づつの薬局が存在します。

皆さんは薬剤師にも訪問をしてお薬の管理をする仕組みがあることをご存知でしょうか。上記のすべての薬局が担っているわけではありませんが、訪問のできる薬局薬剤師は増えてきています。

今回は薬剤師による訪問薬剤管理指導(介護では「居宅療養管理指導」の名称)についてご紹介します。今では医療介護関係者の方々には薬局薬剤師も患者様宅に訪問する仕組みをご存知の方も多いのですが、患者様・ご家族様からはまだ「お薬は薬局でもらうもの」との方も一定数いらっしゃるので啓蒙活動をしているところです。

私たちの業務も年々様変わりしてきており、薬局内にてお薬をお渡しして終わりでは無く、訪問、そしてその後のフォローも必要になってきている中で感じるのは残薬問題です。病院での診察時や薬局でお薬をもらう際には、一見お薬はしっかり飲んでいる前提でお話をされる方でも訪問依頼などにより実際にご自宅に伺ってみると内服や外用など残薬がある例が散見されます。

薬剤師が介入している在宅での患者様へのお薬は一包化などの対応が多いのですが、普段は薬局へ来局されていた方など一包化を必要としていない方でも実際は飲めていなかった例もあるようです。

訪問薬剤師が初めに取り掛かること多いのが、残薬整理やお薬の適正化の検討です。服用しやすくする工夫(錠剤のままでもいいのか、粉薬にすべきかなど)や服用回数を減らせないかなど主治医の先生へ指示を仰ぐこともあります。

【訪問薬剤管理指導の要件】

- ✚ 通院困難な患者様
- ✚ 患者様または家族様からの同意・契約
- ✚ 医師からの訪問の指示
- ✚ ケアプランへ組み込まれること

など諸要件はあります。

一度近くの薬局に相談されることをおすすめします。



コロナ禍により多職種連携や会合などの機会が減ったこともあり、菊池郡市薬剤師会では積極的な多職種連携のために「地域ケア会議」等への参加も積極的に進めています。

すでに参加実績のある菊池・大津地区に加え、合志・菊陽地区も参加を進めておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

菊池郡市薬剤師会 合志支部
大塚薬局 大塚智仁

次は「おおつかの郷」 城様にリレーします。